

韓国における口蹄疫の発生状況

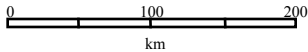
(2010年11月29日～、O型)

・昨年11月29日に慶尚北道の安東市で発生した口蹄疫は、全8道のうち2道(全羅北道、全羅南道)と済州島を除き、韓国全土にまん延。

・韓国政府は、昨年12月にワクチン接種を決定。2月26日までに、全国のすべての牛及び豚のワクチン接種(2回接種)を終了。4月3日、一連の発生が終息しすべての地域で移動制限を解除(最終発生は2月25日)。

・4月17日に慶尚北道の永川市で再発し、4月22日までに同市内で3例報告(全て豚)※。

※ 韓国政府は、①感染豚群の殺処分、②発生農場のみを対象とした移動制限、③全国農場の一斉消毒、臨床観察強化、④発生農場周囲3kmを対象にワクチンの追加接種を実施。



殺処分(3月21日時点):

約6,200農家の約348万頭

(牛:15万頭、豚:332万頭)

(国内の5%) (国内の35%)

京畿道
(12月15日～)

仁川広域市
(12月24日～)

大田広域市
(2月15日)

忠清南道
(1月2日～)

忠清北道
(12月28日～)

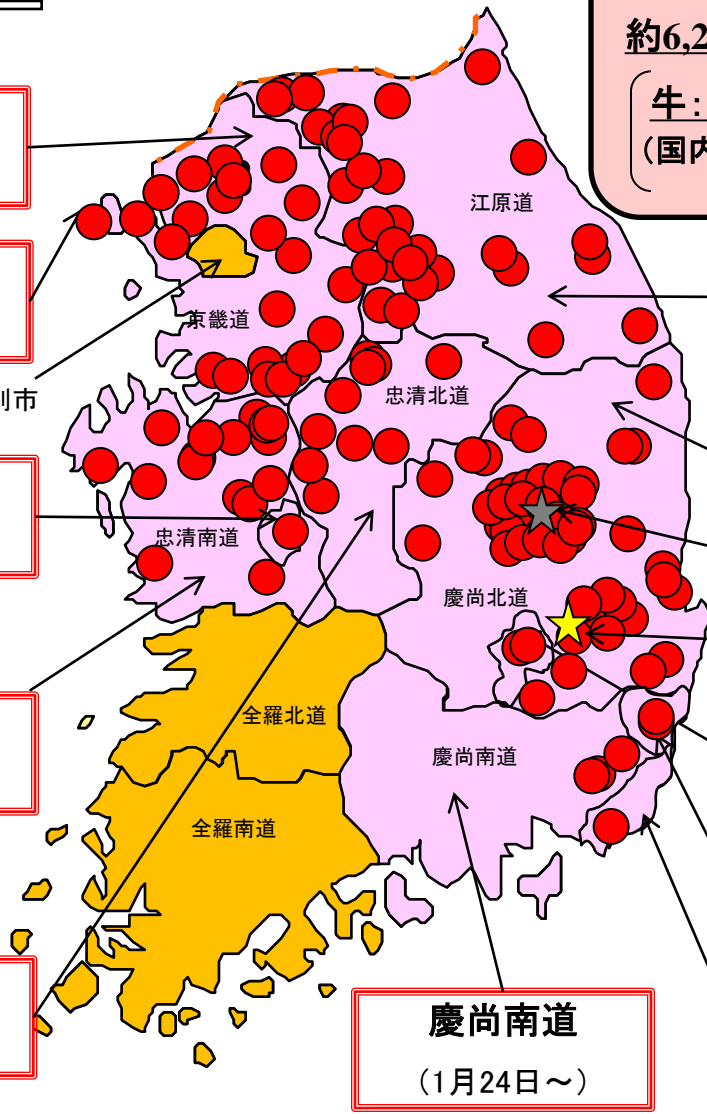
江原道
(12月22日～)

慶尚北道
(11月29日～)

大邱広域市
(1月18日～)

蔚山広域市
(2月26日～)

釜山広域市
(2月7日)



永川市(4月17日再発)

● : 発生地

○日付は確定診断された日

○韓国農林水産食品部公表資料をもとに作成

